

日本初!? 御城印と御朱印のコラボが実現

8月1~31日まで

新発田まつり限定 御城印・御朱印



二枚並べると、真ん中に一つの提灯が出現！

御城印 新発田まつり限定版
500円（税込）

御朱印 新発田まつり限定版
500円（税込）

販売:安兵衛茶屋 (新発田市大手町 4-5-5)

時間:10~16時 (期間中無休)

販売:諏訪神社 (新発田市諏訪町 1-8-9)

時間:9~17時 (例祭中は変動あり)

◆新発田まつりと「新発田城」・「諏訪神社」

毎年8月27~29日に開催される新発田まつりは、諏訪神社の例祭(8月26~29日)が起源。享保11年(1726年)、6代新発田藩主である溝口直治公が、諏訪神社の祭礼をより賑わいのあるものにするため『飾り人形の屋台を出すように』とのお触れを出したことをきっかけに、新発田まつりの華である「しばた台輪」が誕生したと言われています。また、初代新発田藩主である溝口秀勝公が、新発田城内に諏訪神社を遷座(のちに現在地へ遷座)したことから、お互いの関係性の深さがわかります。

御城印・御朱印それぞれには、しばたまつりの華・台輪を所有する6町内及び祭礼に欠かせない悪魔払いを行なう職人町、計7町内の法被にデザインされた背紋を印字。台輪をあしらったスタンプを押印するとともに、力強さを表現した新発田城・諏訪神社のイラストを配しています。今回の特徴として、御城印と御朱印を並べると、中央に提灯の図柄が完成する仕掛けを施しています。御城印と御朱印がこのような形で販売されるケースは珍しく、全国初(※新発田市観光協会調べ)の試みとなります。